



健康プラザ通信 ～指導士のみなさまへ～ 令和2年 第8号

9月1日発行

～大田管理者からみなさまへ～

8. 健康紙芝居を活用

この4月1日に「高齢者の保健と介護予防の一体的実施に関する施策」が都道府県、市町村に対して通知されました。保健事業と介護予防事業という制度の違うものを一つにするというのはとても難しいことです。

茨城県は指導士さんが健康紙芝居をしようという取り組みを準備し始めていますから、これを活用すれば、住民と協働でかなり進んだ取り組みができると思っています。生活習慣病の予防と介護予防をつなげる事業なので、体操教室で指導士さんが紙芝居を使って話す手法はぴったりです。隅々まで住民に情報が行き届くと思います。

【調査結果報告】

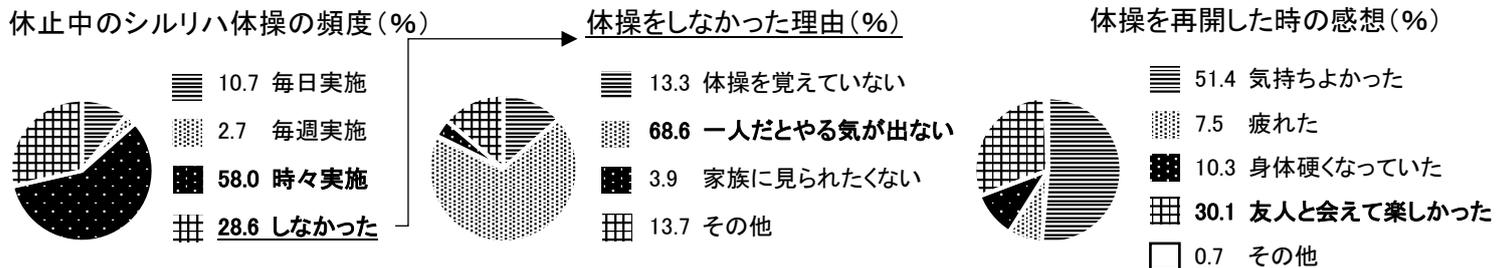
体操教室の閉鎖が与える影響について

阿見町指導士会 菅原会長がまとめたものを一部ご紹介させていただきます。

【はじめに】 阿見町では2月27日にシルバーリハビリ体操全教室を閉鎖し、6月中旬以降集会場での体操教室を再開した。約4か月間の体操教室休止中の体操参加者の対応や体調の変化について調査を実施した。

【対象】 阿見町シルバーリハビリ体操参加者(体操教室休止前の約1/3)* 【方法】 アンケート調査

*再開した教室のみの調査であり、調査していない教室もあるため、現時点では約1/3しかアンケートを取れていません。



【まとめ】

- ・教室休止中、体操を“時々実施”・“しなかった”人達が約8割を占めており、“一人だとやる気が出ない”が主な理由だった。
- ・休止中、体操をしなかった主な理由が“一人だとやる気が出ない”であり、教室再開後は“友人と会えて楽しかった”と答える人がいる事から、仲間と一緒に活動が出来る体操教室の存在は重要である。
- ・指導士会としては、楽しい体操教室の運営を継続して行う事が必要であると今回の調査で認識できた。

お知らせ

〇つくば市指導士会 大久保会長と茨城県理学療法士会で、コロナ禍での介護予防について対談が行われました。

茨城県理学療法士会ホームページをご覧ください。

<https://www.pt-ibaraki.jp/>

〇川柳の募集について

ご応募ありがとうございます。次号掲載予定です。

応募は健康プラザ介護予防推進部まで！

・郵送 〒310-0852 水戸市笠原町 993-2

・FAX 029-305-5711 ・メール kaigo1@hsc-ijp

ご応募いただいた川柳は、お名前(ニックネーム)を添えて紹介いたします。

